コミュニティ・スクール新聞

発行所　藤枝中学校区学校運営協議会　事務局

第３回学校運営協議会

２月20日（火）、藤枝中央小学校を会場に藤枝中学校区第３回学校運営協議会が開催されました。

本年度最後の学校運営協議会ということもあり、藤枝中学校区小中４校の各校校長より学校経営評価と来年度の構想について説明があり、質疑応答の後、委員の方々の承認を得ました。

藤枝中学校

・生徒や保護者に対して実施したアンケート結果から、生徒や保護者の学校に対する『満足度』や『信頼度』が良好であると判断できる。

・タブレット端末を活用した『藤中相談フォーム』やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、登校支援教室（チャレンジルーム）など生徒の悩みや不安に対して相談できる人や場所があり、それらが有効活用されている。

来年度の構想

・『つなぐ』をキーワードにして人、教育、家庭、地域、学校をつないでいきたい。

・子どもたちの中にある主体性を引き出すことに重点を置きたい。

藤枝小学校

・児童へのアンケート結果から『学校が楽しい』や『授業が分かる』に対する高評価を得られた。

・保護者に対するアンケート結果から『あいさつ』に関する項目が改善傾向にあり、にこにこあいさつ運動への取り組みの影響が考えられる。

来年度の構想

・『明日が楽しみになる学校』を目指していきたい。

・そのために『心づくり』『授業づくり』『体制づくり』を3つの柱にしていきたい。

藤枝中央小学校

・児童へのアンケート結果から、友だち同士の関わり合いに喜びを感じながら授業に向き合っていることが分かる。

・『にこにこあいさつ運動』やPTAによる朝のあいさつ運動により地域一帯のあいさつの輪が広がった。

来年度の構想

・自分よし、相手よし、みんなよしの『三方よし』への理解と定着をさらに進めたい。

・子ども理解の理念を大切にし『インクルーシブ教育』を大切にしていきたい。

・教職員の連携や協働を常とし、より多くの教職員がチームとなりひとり一人の児童に対応していきたい。

稲葉小学校

・児童や保護者のアンケート結果からは、授業での学習内容に対する理解が高いと判断できる。

・福祉活動など世代を超えた交流活動は、長年にわたり大切にしてきた活動であることから、子どもだけでなく保護者の満足度も高いと言える。

来年度の構想

・『子どもと教職員で稲葉小をつくる』をテーマとしていきたい。

・そのために『自己指導能力を育てる生徒指導』、『ひとり一人が学びの実感をもつ授業』『自分で考えて行動する特別活動』に力を入れていきたい。

委員の方々の主な意見

・子どもは家庭で育つことが多いので家庭と学校のつながりを大切にしていくと良いのではないか。

・発信だけの一方通行にならず、受信についても工夫されており、小中４校の学校評価の吸い上げがとても良く出来ていると感じる。

・ひとり１台のタブレットによる学習や外国人講師との英語の授業など、時代の変化を感じる。地域としてもバックアップしていきたい。

にこにこあいさつ運動の日程

地域や学校が協力して実施していただいている来年度の『にこにこあいさつ運動』の日程が決まりました。

・4月25日（木）・5月24日（金）・6月25日（火）・7月19日（金）・9月25日（水）・10月25日（金）・11月25日（月）・12月20日（金）・1月24日（金）・2月25日（火）・3月17日（月）です。

ご協力、よろしくお願いします。

コラム

変わりゆく瀬戸川

藤枝中学校横を流れる瀬戸川は、豊かな自然環境に恵まれ多くの生き物たちが生息する場所でした。地域の人々との関わりも深く川漁や信仰の対象でもありました。多くの昔話や伝説も残っています。しかし、都市化と共に河川改修などが進み、その様子は一変しています。生物多様性が叫ばれる今日、今一度身近な瀬戸川に目を向けてみてはいかがでしょうか。一番の絶滅危惧種は『川ガキ』、川で遊ぶ子どもたちなのではないでしょうか。